

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成30年 7月 9日

事業所名 若松ひまわり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		机の配置等で工夫している	定員に対する部屋の広さについては基準内である 相談室内でのグループ活動については短時間で終了しプレイルームや園庭で活動するなど内容について再度、検討する
	②	職員の配置数は適切である	○		新入園児クラスにはしばらくの間はパートの職員をプラスで配置	新入園のお子様登園後、安心して安全に過ごせるように今後も必要に応じて配置していく
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・写真など視覚支援を使用している ・必要に応じてメンテナンスを実施	今後も必要に応じてメンテナンスを実施
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃以外、業者によるワックスがけ、エアコン切り替え時の清掃など実施	今後も計画的な壁面構成を行い季節を感じられる空間作りなどをする
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		各クラスや職員会議などの場で実施	職員会議の場で全職員が意見を言うことで内容を確認し業務改善を進めていく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の皆様のご意見を確認し全職員で話し合いをしながら業務改善を行なっていく
	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○			30年度より評価結果等をホームページで公表予定
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		市の監査やモニタリングを受けている	第三者による評価については今後検討する
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、園内研修、新採研修など実施	新採研修に関しては専門研修のみではなく社会人としてのスキルなどについても系統的に実施していく
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		家庭訪問や文書にて保護者の方のニーズを確認	アセスメントを行い保護者の方のニーズなども確認しているが、共通理解できるよう懇談の中でさらに確認していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要に応じて療育センター・地域支援の専門スタッフに評価してもらっている	支援スタッフのみではなく学園でも遠城寺式やその他、お子様の状態に応じてアセスメントツールを使用していく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		訪問支援に関する支援計画の様式についてはガイドラインからの項目が設定されていない	・保護者の方のご意見を確認しながら具体的な支援内容について一緒に考えていく ・保育所等訪問支援の支援計画については検討していく
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		保護者の方の同意の下、支援計画に沿った支援している	今後も定期的に計画を見直しながら支援計画に沿って支援していく
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		クラス、グループでミーティングを実施 園外保育など活動内容によっては下見も実施し無理のない活動内容にしている	今後もお子様の様子を確認しながら、園外保育についてもクラス職員、グループ職員で立案していく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		クッキングや外出などクラス活動、グループ活動にて実施	お子様が混乱することがないように部分的に固定しているが、30年度もクッキングや外出等を計画的に実施していく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		行事により個別活動の時間が取れないことがあるが年間を通して調整している	支援計画の目標についてはそれぞれ個別、集団で実施
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・代替職員とも役割分担等についても共有している ・バス添乗時は日誌で確認、確認後は押印し確実に情報を共有するようにしている	バス添乗で不在の職員に関しては各クラスの職員が確実に伝達するように徹底する
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必ず、職員間で振り返りを行い子どもの様子についても日々記録を行なっている	チェックリストや個人の記録を不在の職員にも確認するよう徹底する
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		必ず、職員間で振り返りを行い子どもの様子についても日々記録を行なっている	継続していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で話し合いをし見直しを行なっている	継続していく
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			今後も相談支援員、児童発達支援管理責任者、各クラス担当者と共に会議を実施していく
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて子ども総合センター、区役所(子ども家庭相談コーナー・保健師)等の関係機関と連携を取っている	継続していく
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎ書を作成 学校からの見学を受け入れ、保護者の同意の下、口頭で引継ぎを実施したうえ、引継ぎ書を渡している	継続していく
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		総合療育センターの専門スタッフと連携している	保護者の方の依頼により事業所とは年度末の見学受け入れや引継ぎを実施している。今後は必要に応じて年度途中でも保護者の方からの事業所等との連携を図っていく
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		グループ活動の一環で交流を行なっている	30年度はひまわりでの交流の際は、活動の内容によっては他のグループとの交流を実施する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		若松区子育て支援部会に参加	30年度も継続
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や必要に応じ懇談を実施	保護者の方の意向などを確認しながら今後もお子様の状態についての共通理解に努めていく
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者の方からのアンケートをもとに内容を保護者会と確認し勉強会を実施	終了後はアンケートを実施し保護者の方の感想を確認する予定外でも必要に応じて勉強会を入れていく
保護者への説明責任	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			難しい表現に関してはわかりやすい言葉にして説明していく
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			30年度からは様式の変更があったため、保護者の方にはより丁寧に説明していく
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者の方の意向を確認していく
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会の意向を尊重し必要に応じて支援していく
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応をしているつもりではあるが、保護者の方にとってはそのような思われたい場合もあると思われる	担当職員以外でも園長、児童発達支援管理責任者含め保護者の方の思いを尊重しながら迅速に対応していく
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ホームページのブログの更新時には連絡帳にその旨のお知らせを貼り園の様子を見ていただけるようにしていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵のかかる箇所に保管 ・名簿を含め持ち帰りは禁止としている ・席を離れる際には必ず、収納する ・不要な書類はシュレッターで処分 ・29年度は個人情報保護についての職員研修を実施 	30年度も職員に周知徹底する 職員研修として個人情報保護について行なう
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		保護者会主催のバザー	保護者会主催ではあるが できる範囲での支援について 保護者会と共に考え支援する
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルを策定し訓練も実施しているが、保護者への周知は月のお知らせのみであるため、ホームページ等で今後は知らせていく
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			火災想定 その他、不審者想定、地震想定等も実施している 今後はホームページで様子についてお知らせする
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面接時に聞き取りを行なっている	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		面接時に診断書提出を保護者に依頼	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットの確認は毎日朝礼で行い対応について職員間で確認しているが、事例集は作成していないため、30年度は作成する
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			30年度も虐待についての研修を実施予定	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
④7		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		バス内での安全確保のため、チャイルドシートやベルトを使用する際には保護者に説明し、署名捺印していただいている 支援計画ではなく別ファイルにて保管している	バス内での状態については安全確保を優先にし定期的に見直しを行わない、支援計画の中に入れる

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。